

町内探検隊



今月の舞台 上条町



上条町内会の藤岡会長に、縄文土器が出土する歴史のまち、上条町を紹介してもらいます。

◆富士塚

1540年(天文9年)から9年間、徳川家康の父松平広忠と、織田信長の父織田信秀との間に、6回の戦いがありました。当時、安祥城は松平の前線基地だったので、この付近の戦闘が激しく、敵味方数百人が打ち死にしました。後に、これを弔うため、多くの供養塚を建てました。その一つが富士塚



です。現在、その周辺は、娯楽遊技場であり、世の移り変わりを感じます。

◆上条弁財天で大祭



1601年(慶長6年)、岡崎市の青野より弁財天が勧請されました。その後、不思議なことに、清水がこんこんと湧き出て、豊作に恵まれました。ご霊水は、「おでき」「いぼ」「眼病」に効くと言われ、また、弁財天は、音曲・芸能・子宝を授かる神として信仰されています。毎月3日は例祭、9月は大祭を開

催し、大文字の炎がたち、子ども花火のサービスもしています。

◆まちの伝統を継承

まちの東にある森は、市の里山保存指定を受ける上条白山媛神社。自慢は、小学3・4年生の子が、地域の長老たちから笛、太鼓、巫女の舞を教わり、毎年10月の大祭で奉納神楽を披露することです。伝統継承は大変ですが、歴史と伝統をつないでいくことが、まちの団結と、住みよいまちを作ることにつながっていくと思います。



元気っ子アルバム

加藤結愛ちゃん(5歳)
愛菜ちゃん(1歳)



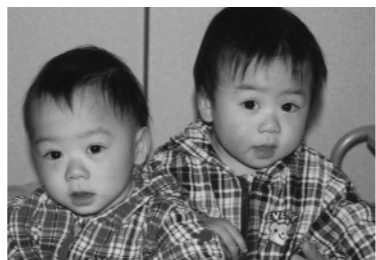
優しいお姉ちゃんのゆあと、お姉ちゃんが大好きなあいなです。楽しい音楽が流れると、いつもふたりで踊っちゃうよ♪
お父さん：友洋さん
お母さん：ゆかりさん (緑町)



杉本拓夢くん(3歳)
優芽ちゃん(1歳)

音楽大好きな優芽です♪歌に合わせておしりフリフリ。毎日楽しいです。拓夢お兄ちゃんのこと大好きです♡
お父さん：哲哉さん
お母さん：めぐみさん(安城町)

塩谷知矢くん(右・1歳)
直矢くん(1歳)



ぼくたちは6月23日に1歳になった知矢と直矢です。ブームは公園のすべり台。早くひとりですべれるようになりたいな。
お父さん：豪也さん
お母さん：史珠枝さん(東栄町)

「わたしの望遠郷」コーナーでは、みなさんからの投稿をお待ちしています。市外・県外・海外に住んでいた人、すてきな思い出や自慢のふるさとを紹介してください。詳しくは、電話で秘書課広報広聴係(☎71)2202)へ。掲載者には記念品を差し上げます。

わたしの望遠郷



鹿児島県薩摩川内市



篤姫ブームで薩摩の国をご存じの人も多いと思います。わたしが生まれ育ったのは、鹿児島県薩摩郡。平成の大合併で、現在は薩摩川内市です。当時は30戸ほどで、電気もバスも電車もありません。ランプの灯りで宿題をし、郵便屋さんが配達してくれる新聞を、父が家族に読み聞かせてくれました。月に1回は、近所の集会場にてんぷらなどをもち寄り、太鼓や三味線を楽しみながら宴会しました。

昭和19年、戦争が激しくなり、東京にいた兄嫁さんが帰ってきました。兄は、海軍の士官候補生。兄嫁は赤十字の看護師で、垢抜けたきれいなお義姉さん。

このお義姉さんが、慣れない田畑の仕事や、山でのまき取りをしていました。みんなと同じようにはできませんでした。不平不満を一言も言いませんでした。母やわたしたち姉妹をととも大事にしてくれた、日本一優しい、自慢のお義姉さん！今ではずいぶん年をとりましたが、

電話の向こうで「帰っておいで」といつも言ってくれます。帰郷した時は、隣近所の人も、「戻ってきたか。茶をいっぺ(一杯)飲んで！」と鹿児島弁で声をかけてくれます。故郷には、お金では買えない温かいものがたくさんあります。

太田操さん(桜井町)



生まれ育った家

スクールナビ

桜町小学校

今回のスクールナビは、桜町小学校を紹介します。

◆夢のある楽しい学校

昨年度に誕生したマスコットキャラクター「桜王子のサッキー」。創立30周年を機に、「プール壁画」「南吉ビッグアート」「遊具のリニューアル」など、子どもたちのアイデアを生かしたさまざまな活動をしました。今年度も全校児童による「夢のある楽しい学校づくり」が進行中です。



桜王子のサッキー

◆笑顔いっぱいの児童会行事



七夕横丁の魚釣り

「こいのぼり大通り」「桜町ハロウィンコンテスト」「クリスマスコンサート」など、児童会が中心となる行事は、どれも子どもたちの笑顔がいっぱい。「七夕大通り・七夕横丁」では、高学年と低学年の児童がペアとなり、一緒に願い事を書いた短冊を飾ったり、お店巡りをしたりして楽しく過ごすが見られます。



「南吉のうた」を群読する2年生